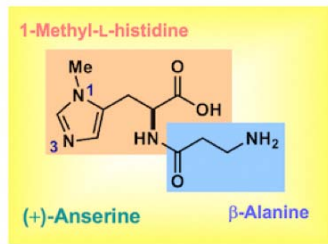


アンセリンの筋運動回復・改善効果の機構解明

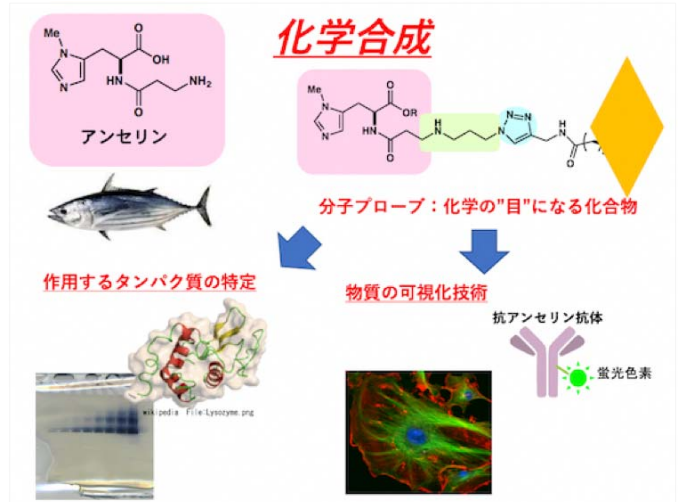


生活習慣病予防

- ・尿酸値低下作用
- ・血糖降下作用
- ・抗酸化作用
- ・抗疲労効果



健康寿命の増加
将来的な医療費の削減
能率の向上による経済効果



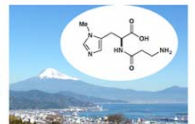
目的・概要

静岡特産のマグロやカツオに多く含まれる機能性成分アンセリンは、抗疲労活性を有し、さらには尿酸値低減効果や血糖降下作用等、健康長寿に寄与する興味深い生物活性を有する。本研究では、独自の合成法を基盤とした手段を用いて、アンセリンの筋肉組織や肝臓などへの作用機構を明らかにする。得られた科学的情報をアンセリン含有サプリメント等に適用し、新たな「付加価値」を創出する。

本提案の目的

基礎研究による機能発現メカニズムの解明
トクホ、機能性表示食品等への展開

トクホ、機能性表示食品等への展開
静岡が世界をリード
アンセリン = 静岡 のイメージ定着



実施体制

- 東海大学海洋学部 特任講師 浅川倫宏(プロジェクトリーダー)
- 静岡県立大学薬学部 教授 菅敏幸、森本達也、伊藤邦彦
- 焼津水産化学工業株式会社 山村昭博、上野友哉

研究内容

①各種標識化アンセリン誘導体の合成

独自の技術であるデヒドロアミノ酸誘導体の不斉還元によるアンセリン誘導体合成法を利用し、機能解明に用いるプローブ分子を合成する。

②アンセリン誘導体に結合するタンパク質の特定

合成したプローブ分子を用いて、アンセリンが結合・作用する体内成分(タンパク質)の単離・特定を行う。機能性について評価し、作用機構を解明する。

③アンセリンの体内分布の可視化

抗アンセリン抗体、抗アンセリン受容体抗体を作成し、蛍光標識することで関与する生体成分の可視化を行う。体内での貯蓄や動きを観察する。